

# イカナゴ親魚調査結果概要

香川県水産試験場

平成25年12月9日と12月25日の計2回、高松～庵治地先において空釣りこぎによる親魚調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

## 1. 親魚密度

・速力3～5ノットで1定点5分曳きを原則3回おこない、この作業を高松2定点と庵治3定点の計5定点(図1)で実施しました。

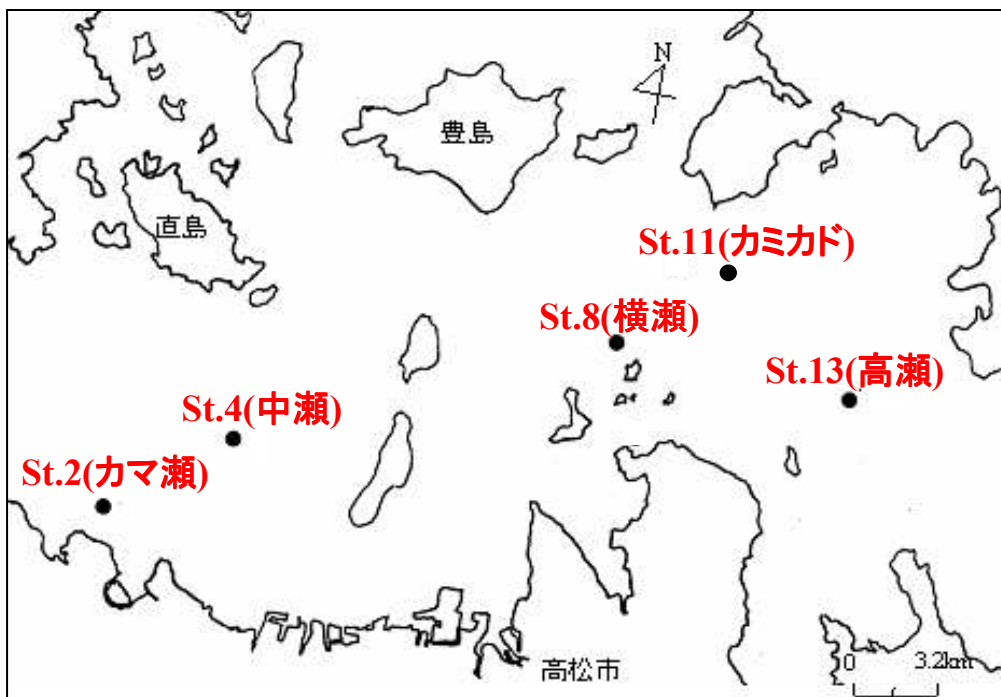


図1 調査定点

表1 調査定点ごとの親魚密度(空釣りこぎ1回あたりの採集尾数)

調査定点	1回目		2回目		1回目+2回目		合計
	0才魚	1歳以上	0才魚	1歳以上	0才魚	1歳以上	
高松地区							
St.2 (カマ瀬)	0.7	0.3	0.0	0.7	0.3	0.5	1.7
St.4 (中瀬)	1.3	1.0	0.0	1.0	0.7	1.0	3.3
庵治地区							
St.11 (カミカド)	2.3	0.0	1.7	0.3	2.0	0.2	2.2
St.8 (横瀬)	4.3	4.0	3.0	3.0	3.7	3.5	7.2
St.13 (高瀬)	8.3	10.3	2.7	1.3	5.5	5.8	11.3
計	3.4	3.1	1.5	1.3	2.4	2.2	4.6

表2 親魚密度・年齢組成・平均全長(過去の調査との比較)

		0才			1才以上			全体
		親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)
H18	12月	23.8	45.2	77.1	28.8	54.8	119.6	52.6
H19	12月	4.4	46.0	83.7	5.2	51.0	111.5	9.6
H20	12月	7.4	96.0	89.2	0.3	4.0	124.6	7.7
H21	12月	1.6	31.0	90.2	3.6	69.0	130.5	5.3
H22	12月	14.2	99.5	88.9	0.1	0.5	141.6	14.2
H23	8月	11.7	82.2	76.9	2.6	17.8	126.4	14.3
	12月	7.4	71.3	78.9	2.8	28.7	127.2	10.2
H24	7月	101.5	99.5	76.3	0.5	0.5	138.9	102.0
	12月	20.5	84.1	81.4	3.9	15.9	144.0	24.3
<b>H25</b>	<b>7月</b>	<b>15.1</b>	<b>93.2</b>	<b>76.9</b>	<b>1.1</b>	<b>6.8</b>	<b>118.0</b>	<b>16.2</b>
	<b>12月</b>	<b>2.4</b>	<b>52.5</b>	<b>84.3</b>	<b>2.2</b>	<b>47.5</b>	<b>120.9</b>	<b>4.6</b>

- ・親魚密度（空釣り1回当たりの採集尾数）は4.6尾であり、昨年12月の24.3尾および今年7月の調査における16.2尾を大きく下回りました(表2)。
- ・年齢組成は0才魚が52.5%，1才魚以上が47.5%でした(表2)。
- ・定点ごとの親魚密度は、庵治地先St.13において最も高くなりました(表1)。
- \*年齢の起算日は1月1日とする（0才魚：平成25年1月1日生まれを示します）。

## 2. 冬季調査におけるイカナゴ親魚の全長組成

全長測定の結果を図2に示した。

平均全長は0才魚が84.3 mm(N=65)であり、H24年12月時の全長(81.4 mm)より若干大きかった。1才魚以上は120.9 mm(N=64)であり、H24年12月時の全長(144.0 mm)より小さくなった。

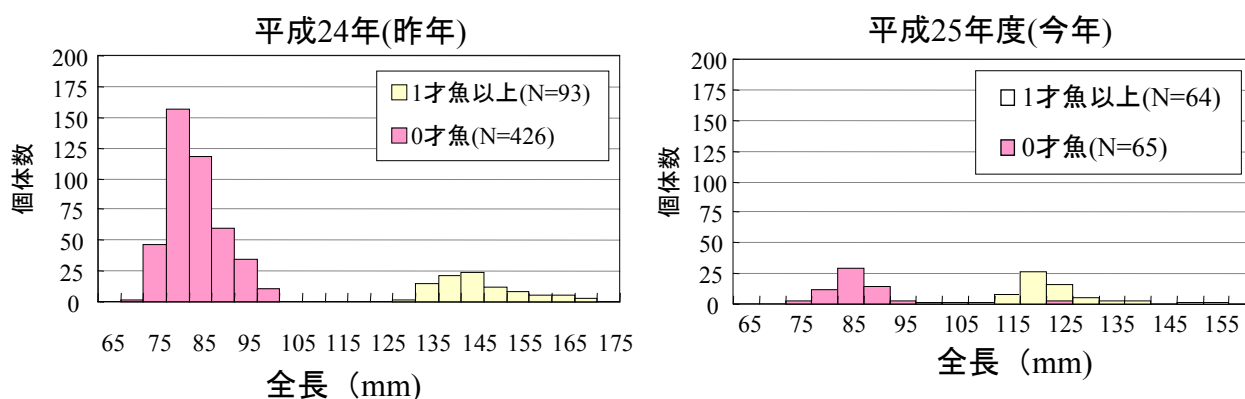


図2 イカナゴ親魚の全長組成

### 3. 産卵状況

#### 1) 水温の動向

今期の屋島湾(備讃瀬戸)の水温は、11月下旬頃から平年値(1975年-2012年の平均値)より低く推移しています。成熟開始のきっかけになると推測されている「水温20℃」を下回ったのは、平成25年11月12日であり、平年(11月8日)より若干遅かった。また、夏眠が終了すると推測されている「水温13℃」を下回ったのは平年より4日早い12月15日であった。

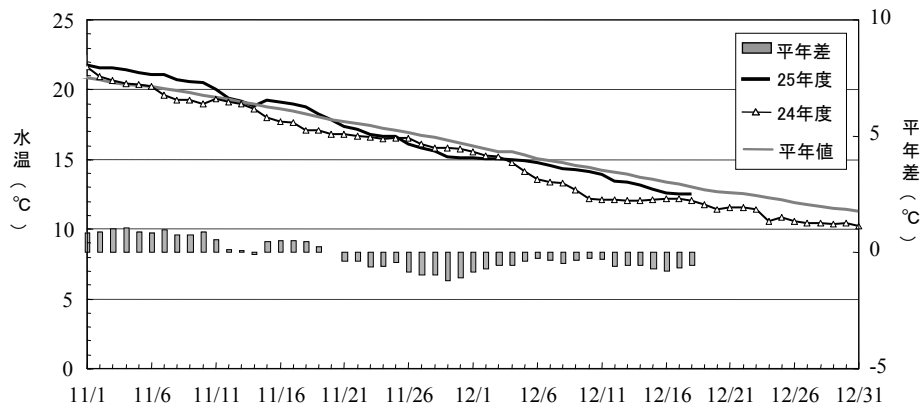


図3 水温の推移(屋島湾水深1.5 m)

#### 2) 生殖腺熟度指数の推移

メスの親魚の生殖腺(卵巣)熟度指数(GSI(%))=生殖腺重量÷体重×100)を図4に示した。メス親魚のGSIは0才魚、1才魚以上ともに12月9日から12月25日の間にかけて大きく低下した。従って、今年の産卵盛期は12月9日以降12月25日までの間にあったものと推測される。

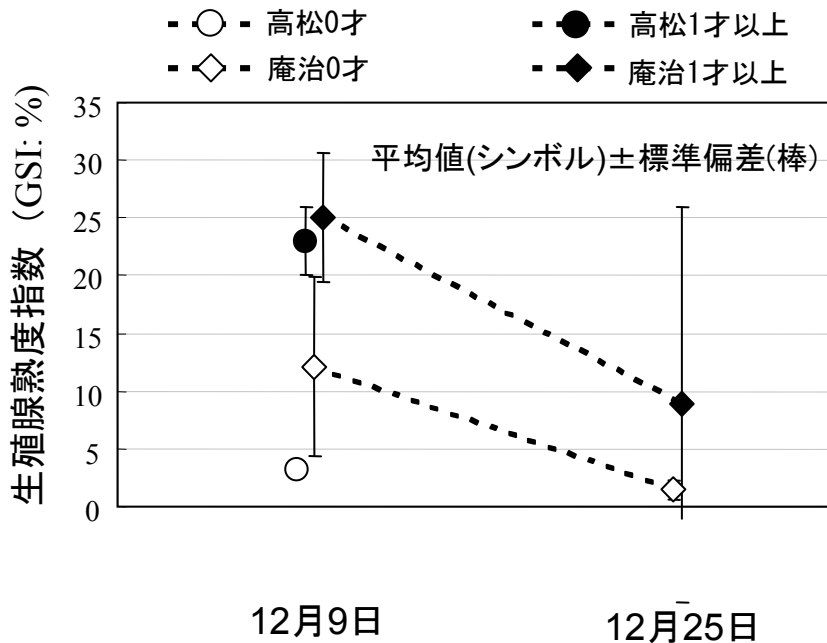


図4 イカナゴ親魚(雌)の生殖腺熟度指数(GSI)の推移

※12月25日の高松地先において、メスの親魚を採集できなかったことから、高松地先における親魚の産卵の有無を判断できず